

自動運転に関する国の最近の動き

○内閣官房 IT 総合戦略室

- 官民 ITS 構想・ロードマップの 2019 年版に向けての検討が進められている。(例年と
おり 5・6 月に公表予定)
- 制度整備大綱のフォローアップ会議が年 2 回程度行われる予定。

○内閣官房日本経済再生事務局

- 自動走行に係る官民協議会が 3/26 に開催予定。2018 年度の総括。

○内閣府 SIP

- SIP の第 1 期が 2018 年度で終了し、2 月に成果報告会やデモなどが行われた。
- 主な成果は、5 府省の政策担当者が一堂に会して検討する体制が定着したこと。技術的
には協調領域を選別して研究開発を進めたこと。
- 第 2 期が 2018 年度よりスタートし、社会実装とサービスに向けた取り組みがなされて
いく。2020 オリパラに向け、東京都、自工会と検討している。

○国土交通省

- 自動車局では、制度整備に向けた審議会小委員会を開催し、法改正にむけて動いている。
(3/8 に閣議決定。その後、国会審議)
- 道路局では、2018 年度に道の駅自動運転で 5 か所の長期実証実施。前年度 FS の所の
1 週間実証も数か所実施。
- 都市局では、東京と兵庫のニュータウンで自動運転実証を実施。
- 航空局では、全国複数の空港の制限エリアで自動運転実証を実施。

○警察庁

- レベル 3 の実現に向けた法改正の検討を実施し、12 月にとりまとめてパブリックコメ
ント実施。道交法の改正は、3/8 に閣議決定し、その後、国会審議)、WP 1
- モビリティサービスについての検討の WG を開催、報告書を公表。

○経済産業省

- 国交省自動車局と連携して、ラストマイルとトラック隊列の実証を実施。前者は、1 :
2 の遠隔操作・監視の実証と日立 BRT でのバス型の実証。後者は、車間距離 10m ま
で縮めての実証。自動バレーパーキングも実施。社会受容性などの検討も実施。
- 自動運転の安全性評価手法 (DB、評価シナリオ、評価基準) の開発を開始。SIP の仮
想空間評価法 (センサー評価などのデジタル化) と連携。標準・基準に向けて。